

特集: cm 望遠鏡のサイエンス (1)

巻頭言	cm (センチメートル) 望遠鏡のサイエンス	河北秀世, 濤崎智佳	566
	大阪教育大学 51 cm 望遠鏡: 10 年の成果	定金晃三, 松本 桂	567
	小口径望遠鏡でできるブラックホール X 線連星の研究あれこれ	植村 誠	576
	古い散開星団を求めて	長谷川 隆, 河北秀世	583

シリーズ: いま天文教育を考える (3)

	高校地学と天文教育	鈴木文二	589
シリーズ	《ミニラボ。～研究室紹介新ばーじょん (20)～》 金沢大学理学部宇宙物理研究室	米徳大輔, 村上敏夫	595
要望書	日本天文学会要望書	祖父江義明, 松田卓也	597
ASTRO NEWS	宇宙に羽ばたいた X 線天文衛星「すざく」	井上 一, 「すざく」チーム	599

月報だより			601
-------	--	--	-----

2005 年秋季年会	年会プログラム		
------------	---------	--	--

【表紙説明】

ぐんま天文台の小口径 65 cm 望遠鏡で測光観測が行われた古い散開星団の一部。測光から年齢、距離、(粗い) 金属量の測定ができる。観測された 33 個のほとんどは 5 億年より古いもので 40 億年のものも含まれていた。40 億光年先の銀河で個々の星を見ることはできないが、これらの星団からは個々の星を道具として利用した高精度な銀河系の進化を議論することが可能になる。このような年齢の星団は十分調べられていなかったため、暗黒の中間期を物語る貴重な天体である。また、65 cm という小口径でも、銀河中心から 15 kpc 程度の距離のものまで到達することができる。観測された星団は、銀河の一生の中で銀河系円盤外縁で起きた事件を探る上でも重要な鍵をにぎる星団である可能性がでてきた。

(特集記事「古い散開星団を求めて」参照)